

取組5

憩いの空間の創出

取組の評価

2.8

一部に改善を要する

- < 取組5 の基本方針 >
- 1 公園愛護活動の促進

2 特性を活かしたうるおい空間の整備

3 身近に利活用できる公園の整備

4 花と緑のまちづくりの推進

【取組の目的】 みんなが憩える親しみのある、地域の特性を活かした特色ある空間を創出します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 と 本 市 の 現 状

1

社会の動向

- ◎ 地球温暖化や生態系のバランスの変化など地球規模で問題の深刻化が指摘されている中、国においても持続可能な社会に向けて、二酸化炭素の抑制を目指した低炭素都市づくりが推奨されており、二酸化炭素の吸収源である緑の保全と創出が強く求められている。
- ◎ 環境問題と景観形成の意識の高まりや災害に強いまちづくりの一層の推進、余暇活動における自然とのふれあいのニーズの高まりなど、緑が持つ環境保全、レクリエーション、防災、景観形成といった様々な機能を十分に発揮させていくことが期待されている。
- ◎ 浜松市において、歴史的・文化的な観点から、政令指定都市に相應しい、市民が誇ることのできる公園として、魅力ある都市・都心づくりの核となる公園とするため、浜松城公園長期整備構想の策定が検討されている。

2

本市の現状（主な取組）

- ◎ 平成22年度に『袋井市緑の基本計画』を策定し、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する施策を総合的に実施するため、市民・企業・行政が一体となり、緑の保全・創出に取り組んでいる。公園や河川等は各自治会が中心となって愛護活動に取り組んでおり、愛野メモリアルロードの花の植え替え等は地元団体等と市が協働で行っている。また、10地区の花工場で育成した花苗を公共施設や地域に配布し、花と緑のまちづくりを推進している。
- ◎ 3つの地域（三川、春岡、深見）において、みんなが憩い親しむことができる公園の整備を進めている。また、周辺の森林など自然を親しみ、市民の誰もがやすらぎを感じることできる憩いの空間を創出するため、市営墓地公園の整備を進めている。
- ◎ 平成22年度末時点で都市公園など173の公園・広場を管理している。今後、老朽化した施設の修繕・更新等に多額の費用が必要になるため、供用開始後10年（平成22年度末）を経過した公園等を対象として、遊具やトイレ等の長寿命化と更新・修繕費用の縮減を図るため、平成25年3月に「袋井市公園施設長寿命化計画」を策定した。

『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果

1

取組指標の評価

【※ 実績値は、各年度末における最新数値】

評価結果の平均値（A）

2.3

<評価基準>

4：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0%

3：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0%

2：達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0%

1：達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

番 号	指 標 名	項 目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
1	都市・農村・寄付公園、コミュニティ広場等の市民一人当たりの面積【㎡】	目 標 値	－	28.3	28.3	29.5	29.7	29.9	30.6	
		実 績 値	26.8	27.5	27.5	28.6				
		達成率	伸び率	－	97.1	2.6	97.1	0.0	96.9	4.0
		評 価	－	2	2	2				
2	公園愛護団体数【団体】	目 標 値	－	79	79	81	83	84	85	
		実 績 値	77	76	75	77				
		達成率	伸び率	－	96.2	▲ 1.2	94.9	▲ 1.3	95.0	2.6
		評 価	－	1	1	2				
3	花いっぱいコンクール参加件数【件】	目 標 値	－	56	56	57	58	59	60	
		実 績 値	54	52	44	40				
		達成率	伸び率	－	92.8	▲ 3.7	78.5	▲ 15.3	70.1	▲ 9.0
		評 価	－	1	1	1				
4	河川愛護（リバーフレンドシップ）の協定締結団体数【団体】	目 標 値	－	18	18	19	20	22	23	
		実 績 値	17	17	18	26				
		達成率	伸び率		94.4	0.0	100.0	5.8	136.8	44.4
		評 価	－	2	4	4				

【指標に影響を与えた主な要因】

指標1と指標2は、宇刈里山公園などの整備完了や既設公園の愛護活動への参加呼びかけにより、前年度より増加したが目標値は達成できなかった。指標3は、個人の部の参加者が減ったことにより前年度より減少し、目標値も大きく下回ったものの、花工場の花苗配布は年間16万ポットを配布しており、継続して緑化の推進が図られている。指標4は、新規団体の参加により、目標値を大きく上回った。

2

指標で表すことが困難な成果

- ◎ 公園や河川の愛護活動、愛野駅メモリアルロードの花の植え替えなど地域が一体となって取り組む活動により、花や緑など自然を大切にする心が育まれている。
- ◎ 公園整備にあたり、ワークショップを開催し、住民の意見を取り入れるなど、地域の公園として末永く親しまれるよう意識の醸成を図り、市民と行政の協働により大切に管理していく礎となっている。

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果

1

主要事業の評価

番号	主 要 事 業 名	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果			
		H24 事業費 【千円】	有 効 性	効 率 性	廃 止 の 影 響
			4. 極めて有効 3. 有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	4. 極めて効率的 3. 効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	4. 極めて影響あり 3. 影響あり 2. どちらでもない 1. なし又は代替手法あり
1	公園愛護活動事業	5,964	3	3	4
2	公園維持管理事業	47,486	3	3	4
3	公園施設長寿命化事業	13,225	3	3	3
4	公園芝生・樹木等管理委託事業	66,400	3	3	3
5	袋井駅前広場維持管理事業	910	3	3	3
6	愛野公園施設維持管理事業（指定管理）	15,798	3	3	3
7	月見の里公園施設維持管理事業（指定管理）	6,330	3	3	3
8	愛野駅南北自由通路・駅前広場維持管理事業	18,334	3	3	4
9	（仮称）三川公園整備事業	5,817	3	3	3
10	（仮称）春岡多目的広場整備事業	4,223	3	2	3
11	深見公園整備事業	2,195	3	3	3
12	市営墓地公園整備事業	11,810	4	4	4
13	花工場運営事業	6,128	4	3	4
14	花咲くふくろい推進協議会運営事業	301	3	3	3
15	袋井市花の会運営費補助事業	238	3	3	3
16	花壇維持管理事業	1,054	3	3	3
17	JR袋井駅・愛野駅前花壇管理委託事業	5,219	3	3	3
18	街路樹愛護報償金事業	762	3	3	4
19	街路樹管理委託事業	51,103	3	3	3
20	生垣づくり補助事業	568	3	3	3
21	河川・海岸愛護事業	14,588	3	3	3
22					
23					
24					
25					
評価結果の平均値（B）		3.1	3.1	3.0	3.3

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値（C） 3.0

番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	4	4				◎ 公園や河川愛護活動事業、袋井市花の会運営事業、花工場運営事業など自治会や市民団体等との協働により事業推進することで、地域や市民、行政などみんなで憩い親しむ空間を大切に思い、管理していく機運が醸成されている。 ◎ 自然や地域の歴史や文化を活かした公園（宇刈里山公園等）や、地域住民の憩いの場や災害時の避難場所として活用できる身近な公園（（仮）三川公園等）の整備が進められ、多種多様な憩いの空間が創出されている。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	4	4				◎ 公園等は、地域交流や市民の安らぎや憩いの場だけでなく防災拠点や景観形成など多面的な機能を有しており、市民や地域の財産として、将来にわたり継承していく必要がある。愛護活動など市民等との協働事業、指定管理者制度の活用等により適正に維持管理していくことが必要である。 ◎ 当市において、平成22年度末時点で供用開始後30以上経過した公園が20公園（11.6%）あり、10年後には63公園（36.4%）に増加し、今後、老朽化による事故等が懸念される。「袋井市公園施設長寿命化計画」に基づき、コスト削減を図りつつ適正に維持管理していく必要がある。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	1	1				◎ 公園等について、「袋井市緑の基本計画」等を基に計画的に整備が進められている。市民意識調査では“満足”及び“ある程度満足”と回答している人の割合が60%近くに達しており、取組の効果が一定程度表れているものと思われる。しかしながら、身近な公園が少ない地域については、計画的に整備を進めていく必要がある。また、地域に親しまれる施設となるよう住民の意見を取り入れるとともに、維持管理について地域と行政の役割を予め決めておくことも必要である。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <<評価基準>> 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

取 組 の 評 価			コ メ ン ト 欄
2.8	一部に改善を要する		◎ 公園愛護活動の参加団体は平成22年度からほぼ変わらず、花いっぱいコンクールへの参加者は減少傾向が続いているものの、花工場の花苗配布は年間16万ポットを配布しており、継続して緑化の推進が図られている。また、河川愛護活動の参加団体については大きく増加しており、取り組みの効果が表れている。 ◎ 公園施設の長寿命化と更新・修繕費用の縮減を図るため、「袋井市公園施設長寿命化計画」が平成25年3月に策定された。今後はより安全で安心して公園を利用できるよう本計画を基に適正に維持管理していくことが求められる。 ◎ 市営墓地公園について、平成27年度の開園に向けて、アクセス道路整備など関連事業とあわせて着実に整備していくことが求められる。住民や地権者への丁寧な説明等により、円滑に事業を推進するとともに、公募した公園名称のPRや地元自治会とのパートナーシップの推進等により、市民が安らぎや憩いを感じる施設となるよう取り組んでいく必要がある。
各評価結果の平均値			
取組指標の 評価結果（A）	主要事業の 評価結果（B）	有効性等の 評価結果（C）	
2.3	3.1	3.0	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向 <<展開方向>> 拡充（順調） 拡充（改善必要） 継続推進 縮小

番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向
1	公園愛護活動の促進	継続推進	継続推進	継続推進				公園整備を進める中で、地元自治会等と維持管理方法を決めていくとともに、既設公園については、既に多くの公園で地元自治会等に協力をいただいていることから、より愛護活動を継続しやすい方法を今後も研究していく必要がある。
2	特性を活かしたうるおい空間の整備	継続推進	継続推進	継続推進				当市特有の農の資源、川や里山などの自然資源や地域固有の歴史や文化を活かした憩いの空間（小さな公共空間）の創出を検討していく必要がある。
3	身近に利活用できる公園の整備	拡充	拡充	継続推進				引き続き「袋井市緑の基本計画」に基づき、公園等の整備を進めるとともに、親しまれる施設となるよう住民等の意見を取り入れて整備していく必要がある。また、身近な公園が不足している地域を把握し、整備を検討していく必要がある。
4	花と緑のまちづくりの推進	継続推進	継続推進	継続推進				市民や地域との協働による花工場運営事業や愛野メモリアルロードの花の植え替え事業、また、企業の敷地内緑化の推奨などにより、花や緑にあふれるまちづくりを継続して進めていく必要がある。
5								
6								

【その他留意事項】